

# 幼稚園に於ける健康教育

醫學博士 野 津 謙

世界各國の保健衛生は、世界大戰の終局を告げると共に、全然其姿を變へて現はれて來た。即ち、英、米、獨、佛、伊、蘇等は、相呼應して從來の治療醫學の兜を脱ぎ捨て、夫々國民の健康増進を目標として、醫學界も豫防醫學への道を辿るに至つたのである。

我國に於ても、昭和五年、米國ロックフェラー財團よりの申出による公衆衛生院の寄附が、内務省によつて承認せられたるを始めとして、徐々に、衛生方面への關心が高められて來たが、最近、陸軍省が壯丁検査の結果、不合格者の逐年増加する事を以て、國民體位低下しつゝありさ見做し、國民の健康問題が重視せらるゝに到つた。

陸軍省のいふ所の不合格者は、都市に多く、然も、産業都市に著しく、田舎は都市に比較すれば尠いけれども、尙之を十年前と比較するに増加し、職業別には、學生に不合格者が多いといふのである。壯丁には、筋骨薄弱者、呼吸器疾患、近視眼等多く、又學童の身體検査統計によれば、身長、體重、胸圍は、少しづつ増加してゐるけれども、齟齬、近視眼等が漸次増加の傾向がある。文明の進歩と共に、體力が低下することは、常識で考へても了解出来る事で、都市には、都市型虛弱兒童が増加しつゝある。かゝる状態にある故に、近衛内閣は率先して、保健社會省を建設せんとして、明年早々實現の運びになる事は、國家のために同慶に堪えない。其他、國民健康保險、保健所等、色々計畫せられつゝある事は、實

に愉快な事である。併し、如何なる施設が出来ても、之を直接運用するものは、醫師であつて、我國民體力向上には、六萬の醫師が結束して之に當るべきである。それには、治療醫學より豫防醫學への再教育が必要であつて、前述の公衆衛生院は、その意味に於て、重要である。唯この再教育は、理論のみにては不完全で、その實際を知らなければならぬ。内務省は、そのために、東京市京橋區を都市特別衛生地區に、又、埼玉縣所澤附近を農村特別衛生地區に指定して、其の實際を行はしめてゐる。私は昭和十年より、この京橋區に於ける保健館に於て、學校衛生を擔當してゐる。而して、幼稚園の衛生は、學校衛生の一部であつて、之を積極的に實施するには、幼稚園の保姆諸姉が、以上の現在の狀勢を認識して、健康教育の立場に立つて、幼稚園の健康教育を實施せらるべきである。

醫學の歴史を顧みる時、ヒポクラテスの偉業を等閑視する事は出来ぬ。彼の云つた「醫は自然の臣僕なり」は實に至言である。爾來、幾多の變遷を経、自然科學の勃興にあつて、藥物療法を主とした治療醫學の時代となつた。我國の醫學の歴史は、亦之と同様の歴史を経てゐるのである。細菌學より衛生學の發達となつたけれども、今日の衛生學は、急性傳染病豫防の域を脱せず、國家の醫業としては、甚だしく物足らなさを感ずるものである。國家の醫業としては、何を爲さねばならないか。此の問題は改めて我々醫師として反省すべき事である。我々は、國民の病氣を治療し、傳染病を豫防し、尙進んで強い精神と強い肉體を造らねばならない。

幼稚園兒、學齡兒童等すべて、學校に通ふ者に關する衛生を我々は學校衛生と稱してゐる。以上の考へ方によつて現在の學校衛生の動向を我々はよく注視するならば、最も憂ふべきは、學校或は幼稚園の病院化である。學校の病院化とは何か？學校は病人を治療する所ではない。病院が病人を治療する所であるので、學校に於ては兒童は益々強くならなければならぬのである。ツベルクリン反應、X線寫眞等によつて、始めて結核の診斷が可能である事は我々のよく知つて居る

處である。然るに世間は體溫測定にて三十七度一分の微熱を以て、結核なりと診斷する者があるのである。而して教室に於て、徒らに體溫測定をして其の結果は只兒童に恐怖心を與へるのみに過ぎない。秋冬にかけて太陽を見ること少き北陸地方に於て、巨費を投じて太陽燈を購入する事は、或は合理的であらう。然し乍ら快晴多き土地に自然の日光を等閑視して人工太陽燈によらんとするが如きは考へねばならぬ。是等の例は未だ數多あるのである。教育者はその立場を忘れる事なく、健康教育を實施する事が最も望ましい。

幼稚園兒の衛生に就てはその死亡は如何なる状態にあるか、之が第一の問題である。昭和十年内閣統計局調査によればその概數は次の如くである。

第一表 昭和十年、内地

年齢	總死亡	急性傳染病	%	結核	%
3	12000	2600	1/5	400	1/30
4	8000	1800	1/4.5	400	1/20
5—9 (平均)	3400	460	1/7	400	1/8
10—14 (平均)	2000	90	1/20	500	1/4

各年齢の人口總數が出てゐないけれども大體同數を考へるならば、總死亡に對する病氣の割合は、三、四歳の急性傳染病より、十歳—十四歳に至りて結核に移行するこいふ事になる。急性傳染病及び結核以外には左程問題になるものはないのである。

従つて、幼稚園兒には、急性傳染病が重要問題である。幼稚園の急性傳染病に就ては、拙著「健康教育と學校傳染病」日本醫事新報、昭和十二年三月發行、第七五七號を参照されたい。又略々同様の内容にて、日本兒童學會雜誌「兒童研究」昭

和十二年三月號に、「東京市幼稚園児麻疹罹患に就て」發表してゐる。

東京市立幼稚園に於ける罹病状態は、殊にその中、學校傳染病に就て述べれば次の如くである。

第二表 幼稚園児八種傳染病罹患率(百人ニツキ四ヶ年平均)

	全市		京橋區	
	全	市	全	市
麻疹	一一・〇	一三・〇	〇・五	〇・五
水痘	五・〇	五・五	〇・四	〇・三
百日咳	四・〇	四・〇	〇・二	〇・二
耳下腺炎	三・〇	三・〇	〇	〇
猩紅熱				
赤痢及疫痢				
チフテリア				
腸チブス				

麻疹では中々死亡しないに一般に考へられて居るが内務省統計によれば、麻疹の死亡は等閑視出来ぬのである。

第三表 傳染病による十ヶ年平均死亡數

麻疹	一七七五	猩紅熱	二四一
赤痢及疫痢	一〇九三六	痘瘡	一一七
チブス及バラチブス	九九四五	コレラ	五二
百日咳	九五二七	發疹チブス	二
チフテリア	四〇四一	ペスト	一
流行性腦脊髄膜炎	三六一		

麻疹の流行は、東京市に於ては、昭和六、八、十、十二年と隔年に來る。然も五月を最高としてゐるので、東京に於ける麻疹豫防は、殊に虚弱園児に對して可能である。警視廳に於て獎勵してゐる成人血清注射の如きはその一例である。

次に、幼児の發育に就て、知らなければならぬ。幼児の發育に就ては、身長、體重、胸圍等色々あるけれども、體重は最も信頼するに足るものご考へらる。東大小兒科吉永氏の統計による、各年齢による體重平均を示せば次の如くである。

第四表 幼児體重平均表

一、(男兒)		二、(女兒)	
新生兒	3.06	差	2.95
一ケ年	9.17	6.11	5.74
二ケ年	11.02	1.81	1.71
三ケ年	12.73	1.71	1.76
四ケ年	14.27	1.45	1.57
五ケ年	15.65	1.38	1.48
六ケ年	17.05	1.40	1.35

幼稚園兒時代の四、五、六年は、大體に於て毎年一疋半乃至二疋の増加を示すものである。即ち比較的發育の割合は小なる時代さいふ事が出来る。

以上の様な事は、幼稚園の健康教育實施にはその基礎知識として保姆諸姉に了解して戴きたい事柄である。

學校や幼稚園の母の會等に出席して感ずる事は、母親の兒童の教育に就ての目標が低い事である。多くの母親は、唯、病氣にならないで學校を卒業してくれればよいさいふ頗る消極的の考へ方である。健康にも色々度合がある。私は健康教育の健康は、最も程度の高い、打つても叩いてもびくきもせぬ程度の健康を目標とする事を希望する。

幼稚園の衛生は、園長、園醫、保姆、衛生婦等によつて實施せらるべきである。是等の職員が夫々、自分の立場に立つて、盡され、然も、各々の間に互に連絡協調整られた時に始めて、その幼稚園の健康管理がよく行はれてゐるさいはれ

る。而して、其等の仕事は、すべて、學校衛生學の示す所に従つてなさるべきである。然らば、この幼稚園に於ける衛生と幼稚園の健康教育との關係如何？健康教育は、主として教育的立場に立つて、健康に要する教育が行はれる、従つて、幼稚園に於ては、保姆が先づ第一の責任者であり、園醫、衛生婦等は之を補助すべきものである。勿論その學的根據は、學校衛生學によらなければならない。換言すれば、幼稚園の健康教育とは、學校衛生學の中より、教育的に利用し得るものを全部、保姆が中心となつて、引張り出して、之に従つて、健康習慣、健康態度を養成し、精神的並びに身體的健康を獲得せしむる所の系統的プログラムである。

幼稚園の健康教育の方針に就ては、一般健康教育の方針と何等異なる所がない。今茲にその主なるものを列擧すれば次の如くである。

第一、國家的健康教育。日本精神による健康教育を意味するものである。諸外國の長所は勿論之を取るの雅量が必要であるが、唯その形式の模倣は、飽く迄排斥すべきである。國家的健康教育に於ては、尙、我國公衆衛生の缺陷、例へば、結核、乳兒死亡率の高いこと、消化器系傳染病、國民體力低下等の諸問題を念頭に於てやらなければならない。

## 第二、積極的

## 第三、精神的

## 第四、社會的

## 第五、郷土的、幼稚園的、家族的

## 第六、個性的

教育は個性的でなければならない。之は兒童心理に立脚する事を意味してゐる。併し、健康教育には個人の健康状態を

考慮して、その健康状態、その體質相應に之を實施する事が必要である。それには、勿論、醫師を教育者との協力が缺くべからざるものとなつてくる。個性に順應して始めて、積極的健康教育の實施を可能ならしむるのである。唯、スバルタ式教育として、我武者羅の鍛錬主義によつては、如何なる弊害を生ずるか火を賭るより明らかである。我々は、飽く迄科學的の根據に立つた健康教育の實施を渴望するのである。

由來、健康といへば、身體的問題を考へられ勝ちである。併し、精神を身體とは離る可からざるものであつて、我々の健康教育は、寧ろ精神的健康教育に主力を注ぐべきである。双葉山の偉大なる體格は一部遺傳によることを忘れてはならない。従つて偉大なる體格が健康教育の窮極の目的ではない。

我國民は社會訓練の點に於ては未だ遺憾なる點がある。之は、公衆衛生の問題に迄、擴がるものであるから幼稚園に於ても、社會的健康教育として考慮せらるべきであらう。

郷土的、幼稚園的、家族的の問題も、頗る重要方針であつて、東京にて實施せられて居る事を直ちに農村に應用出來ぬ場合が多々ある事を忘れてはならない。其の土地の風俗習慣、傳統、氣候、産業、經濟等すべての環境を考慮に入れて健康教育の實施に迄運ぶべきであると思ふ。幼稚園にあつては、園長、園醫、保姆等によつて、多少その幼稚園に適する様に考へられなければならない。

以上の方針によつて、如何なる事を守つたらいか、之が健康教育の要素であつて、幼稚園の健康教育の要素として擧げられるのは次の八項目である。

### 一、體育(運動及び姿勢)

### 二、榮養

### 三、休息及び娛樂

### 四、日光、空氣、水及び土

## 五、服装及び清潔

## 六、安全及び救急

以上八項目に就て、その趣旨を簡単に述べれば次の如くである。

體育、子供は遊ぶものであるから、この遊びを體育と結び付けて、健康生活に必要な運動の習慣を養成することが必要である。唯この時代には、未だ骨格は發達しないから、骨格を固持する跳躍の如き運動は餘り獎勵すべきでないせられてゐる。又持續的勞働は不可、長時間起立せしむることもよくない。

榮養に就ては、小生著、「右文館發行、學校健康管理、榮養教育篇」を参照せられたい。郷土的、家族的の考慮が勿論必要であるが、榮養教育には、愉快な氣持で食卓に就くことを先づ第一にすべきである。我々のポスターを用ゐる榮養素の教授は、幼稚園にも應用し得ることを思ふ。

休息としては、睡眠を充分に与へることが最も必要、幼兒の疲勞状態を早く發見して、之に休息を與ふことは、學校兒童に就ては、教授衛生として重要視せらるゝが、園兒に就ても同様ではあるまいか。

服装及清潔、服装は餘り厚着にならない様にすることが殊に都市兒童に注意すべきことで、清潔は、健康検査と同時に毎朝實施せらるべきである。清潔より公衆衛生に移りゆくことを幼稚園保母諸姉も了解せられたい。

日光、空氣、水及土、は自然に關するものを茲に包含したので、都市兒童の健康増進に自然に接する事が頗る必要なる事は、我々の體験によつて明らかである。

安全及救急、先づ安全に就ては安全教育なる系統案に従つて、幼稚園兒のそれが確定せらるべきであるが、我國には、未だその研究が餘りない様である。自動車事故の益々増加する都市に於ては、事故豫防の系統案を作る事は急務であつ

## 七、精神衛生

## 八、個人及び社會の健康、疾病の豫防



て、然も、之は幼稚園児より行爲として實施せらるべきものである。救急は、既に、何れの幼稚園児に對しても適當に實施せられて居るであらう。

精神衛生、文明發達に伴ひ、精神病が増加する傾向がある。精神的健康を等閑視出来ない事は、健康教育の方針の際に述べた所であるが茲には、精神病の豫防、異常性格児の問題等を考慮に入れて、幼稚園の精神衛生が取り上げられるべきである。

個人及社會の健康、疾病の豫防、之は最後の結論であつて、疾病に關するものをその豫防として最後に持來りし事は統計的に見ても、病人なるものは、殊に幼児には左程多くないを考へられるので、徒らに病氣を恐れる事なからしむる考へによるものである。

健康教育ニ保育案、施設に就ては、健康教育實施上、遊び場さか、水呑み場、手洗場等を始め、學校衛生施設として必要なるものが同様に考慮せられねばならぬ。

定期的事項としては、毎朝の清潔、健康検査、毎月體重測定等が擧げられる。毎月體重測定に就ては、園兒體重増加の季節的變化に於て、春には體重は餘り増加せず。天高く馬肥ゆる秋には最も多く増加する。夏休の間は、比較的よく増加するものである事等を了解して、毎月體重測定により、増加せざる時には、園醫の健康診断を受けさせること、園兒に發育に就て興味を持たせること等が考へられる。

年中行事には出来るだけ多くの健康問題を取入れる事は頗る構な事である。東京市京橋區鐵砲洲幼稚園の如き、此の點特に意を用ひてゐる。

左にその例を掲げる。

幼稚園年中行事案一覽表

左は市立鐵砲洲幼稚園に於て實施せる年中行事案で、表中上に○印あるものは健康に關係ある行事例です。

四	
上旬	中旬
<ul style="list-style-type: none"> <li>○入園式 始業式</li> <li>○幼稚園日より發行</li> <li>○保育時間午前九時より十一時迄</li> <li>○神武天皇祭(休園)植樹祭</li> <li>○肝油服用開始</li> <li>○智能調査</li> <li>○花まつり</li> <li>○身長體重胸圍測定</li> <li>○おべんたう始め(保育時間午後一時迄)</li> <li>○昭憲皇太后御例祭</li> <li>○健康相談</li> <li>○交通安全週間</li> <li>○寄生蟲検査</li> <li>○齒ブラシ教練</li> <li>○母の會</li> <li>○齒科診斷</li> <li>○園外保育(植物園又は日比谷公園)</li> <li>○齒牙拔去</li> <li>○誕生會</li> </ul>	
五	
上旬	中旬
<ul style="list-style-type: none"> <li>○結核豫防週間</li> <li>○幼稚園日より發行</li> <li>○天長節 觀兵式</li> <li>○靖國神社例祭</li> <li>○保育時間延長午後二時迄</li> <li>○五月人形飾付</li> <li>○兒童愛護週間</li> <li>○鐵砲洲稻荷神社參拜</li> <li>○春季清潔法施行</li> <li>○端午の節句</li> <li>○小運動會</li> <li>○寄生蟲驅除</li> <li>○園外保育(豐島園又は動物園)</li> <li>○體重測定</li> <li>○夏場所大相撲</li> <li>○健康相談 皮膚病の注意</li> <li>○父兄懇談會 保護者會總會</li> <li>○母の會</li> <li>○鐵砲洲稻荷神社參拜</li> </ul>	

月		六	
下 旬	中 旬	上 旬	下 旬
<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼稚園日より発行 お誕生會</li> <li>○幼稚園創立記念日 皇太后陛下御誕辰</li> <li>○園外保育(有栖川宮記念公園) (又は明治神宮外苑)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○母の會</li> <li>○入梅 梅雨期衛生注意</li> <li>○健康相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園外保育(月島四號地)</li> <li>○園外保育(月島四號地) 海軍記念日</li> <li>お誕生會</li> <li>○幼稚園日より発行 東郷元帥記念日</li> <li>○大掃除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鐵砲洲稻荷神社鎮守祭(休園)</li> <li>鐵砲洲稻荷神社參拜 動物愛護デー</li> <li>○むじ齒豫防デー(口腔衛生週間)</li> <li>○園外保育(月島)</li> <li>○健康週間</li> <li>時の記念日</li> <li>○體重測定</li> </ul>

月		七	
上 旬	下 旬	中 旬	上 旬
<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏季臨時保育開始 園児召集</li> <li>○金澤海岸海水浴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ラヂオ體操の會始まる 園児召集</li> <li>明治天皇祭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○母の會創立記念日</li> <li>○大掃除</li> <li>○幼稚園日より発行 第一學期終業式</li> <li>川開き</li> <li>お誕生會</li> <li>藪入</li> <li>孟蘭盆會</li> <li>○安全週間</li> <li>○健康相談 傳染病豫防の注意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身長體重胸圍測定</li> <li>國旗制定記念日</li> <li>○肝油服用一時中止 七夕祭</li> <li>鐵砲洲稻荷神社參拜</li> <li>保育時間短縮 午前八時より十一時迄</li> <li>○大掃除</li> <li>犬 祓</li> </ul>

九		八	
上旬	中旬	中旬	下旬
<ul style="list-style-type: none"> <li>○關東大震災記念日</li> <li>第二學期始業式</li> <li>○幼稚園日より發行</li> <li>鐵砲洲稻荷神社參拜</li> <li>○夏期休暇中幼兒生活調査</li> <li>○園兒健康診斷</li> <li>休暇中の製作品展覽會</li> <li>○防空演習避難訓練</li> <li>○身長體重胸圍測定</li> <li>○健康相談</li> <li>乃木祭</li> <li>○園外保育(月島)</li> <li>滿洲事變勃發記念日</li> <li>○母の會</li> <li>彼岸</li> <li>保育時間延長(午後二時迄)</li> <li>中秋明月 お月見會</li> <li>秋季皇靈祭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園外保育(二子多摩川又は井頭公園)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○母の會</li> <li>○ラヂオ體操の會終了</li> <li>○夏季臨時保育終了</li> <li>園兒召集</li> <li>○園の内外大掃除</li> </ul>	

十		月	
上旬	中旬	下旬	上旬
<ul style="list-style-type: none"> <li>○大運動會</li> <li>神嘗祭</li> <li>○母の會</li> <li>○園外保育(月島)</li> <li>十三夜 お月見會</li> <li>靖國神社例祭</li> <li>お誕生會</li> <li>○幼稚園日より發行</li> <li>教育記念日</li> <li>○大掃除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大運動會</li> <li>神嘗祭</li> <li>○母の會</li> <li>○園外保育(月島)</li> <li>十三夜 お月見會</li> <li>靖國神社例祭</li> <li>お誕生會</li> <li>○幼稚園日より發行</li> <li>教育記念日</li> <li>○大掃除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼稚園日より發行</li> <li>お誕生會(八・九月生れ)</li> <li>○大掃除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>更衣</li> <li>東京市自治記念日</li> <li>○肝油服用開始</li> <li>○園外保育(日吉壺 向ヶ丘遊園地)</li> <li>○秋季清潔法施行</li> <li>○體重測定</li> <li>○健康相談 視力保護の注意</li> <li>戊申詔書御下賜記念日</li> </ul>

十		月 一 十	
中 旬	上 旬	下 旬	中 旬
<ul style="list-style-type: none"> <li>○榮養週間</li> <li>○健康相談</li> <li>○身長體重胸圍測定</li> <li>○園外保育(月島)</li> <li>○感冒罹患者調</li> <li>○暖房裝置 おへんたう温め</li> <li>○避難演習</li> <li>防火デー</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○齒科診療齒牙拔去</li> <li>義宮殿下御誕辰</li> <li>お誕生會</li> <li>○幼稚園により發行</li> <li>○大掃除</li> <li>滿期兵除隊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治節</li> <li>○園外保育(明治神宮外苑又は植物園)</li> <li>精神作興週間</li> <li>○體重測定</li> <li>世界大戰平和記念日</li> <li>○健康相談</li> <li>七五三祝</li> <li>○母の會</li> <li>○秋季齒科診査</li> <li>新嘗祭</li> </ul>
		月 二	
中 旬	上 旬	下 旬	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康相談</li> <li>小豆粥 海軍始</li> <li>藪入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感冒罹患者調</li> <li>○身長體重胸圍測定</li> <li>初年兵入營</li> <li>鏡開 春場所大相撲</li> <li>第三學期始業式</li> <li>陸軍始觀兵式</li> <li>消防出初式</li> <li>書 初</li> <li>新年四方拜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>餅搗き</li> <li>○冬季臨時保育開始</li> <li>○冬季臨時保育終了</li> <li>年 越</li> <li>大正天皇祭</li> <li>第二學期終業式</li> <li>皇太子殿下御降誕奉祝</li> <li>○大掃除</li> <li>お誕生會</li> <li>○幼稚園により發行</li> <li>○母の會</li> <li>おもちゃ祭 年の市</li> </ul>	

二			月
上旬	中旬	下旬	下旬
○感冒罹患者調 節分 初午	○紀元節建國祭(梅の節句) 建國行進 ○體重測定 ○健康相談 ○母の會 智能検査 お誕生會	○幼稚園だより発行 ○大掃除	○母の會 二十日正月 ○新入學兒童豫備身體検査 お誕生會 ○幼稚園だより発行 ○大掃除
三			月
上旬	中旬	下旬	下旬
○園外保育(明治神宮) 陸軍紀念日 ○父兄懇談會	○新入園兒童豫備身體検査 ○新入園兒童家庭狀況調査 ○母の會 彼岸 お誕生會 春季皇靈祭	○幼稚園だより発行 第三學期終業式 保育滿了式 新學期準備	○園外保育(明治神宮) 陸軍紀念日 ○父兄懇談會 ○新入園兒童豫備身體検査 ○新入園兒童家庭狀況調査 ○母の會 彼岸 お誕生會 春季皇靈祭 ○幼稚園だより発行 第三學期終業式 保育滿了式 新學期準備

鐵砲洲幼稚園は、その園兒の家庭狀況等を調査して、夏休中、健康教育の一案として、夏期臨時保育を昭和六年より毎年舉行してゐる。

場所、鐵砲洲幼稚園

期間 八月四日より二十一日まで

會費 一圓乃至一圓五十錢

收容兒、幼稚園兒よりの希望者五十名

職員、四名にて一日 二名宛

保育概要

體重測定、午睡、水遊び(シャワーバス使用)

園外保育、三回又は四回

日比谷プール二回、井之頭公園、金澤海岸海水浴

結果としては、

一、體重増加、各々〇・三疋乃至〇・五疋増加してゐる。

二、園兒が毎日規則正しく愉快な生活が出来る。

三、父兄の理解者多く、毎年繼續して舉行することを希望するもの多數ある。

四、午睡により、夜の睡眠の妨げらるゝものはない。

等にして、保姆諸姉の御努力は、非常なものであるが、その効果は、努力にもまして大なるものである。

幼稚園に於ては、家庭との連絡は、殊に重要視せらるべきであつて、鐵砲洲幼稚園にて施行せらるる(一)幼稚園だより、(二)家庭訪問、(三)母の會等は、家庭健康教育上、宜しき試みである。

幼稚園だよりの要項は次の如くである。

四月

保育方針

四月の様方、(お行儀、健康上の良習慣)

園児の身體狀況

麻疹の原因及び手當

健康カレンダー使用法

耳下腺炎、水痘の原因と豫防

戶外運動の獎勵

五月

寄生蟲驅除

幼兒の厚着の害

戶外運動の獎勵

扁桃腺肥大

六月

齲齒の話

食物と傳染病(赤痢、疫痢、腸チフス)

白癬の手當

七月

定期身體検査の結果

身體及び衣服の清潔

汗に就て

夏の飲食物

海水浴の注意

日射病に就て

夏休健康心得

九月

健康カレンダー統計表

秋の衛生に就て

戶外運動の獎勵

身體發育狀況に就て

十月

戶外運動の獎勵

幼兒の薄衣獎勵

視力保存デー



猩紅熱に就て

十一月

凍傷の豫防

感冒の話

健康週間

戶外運動の奨励

十二月

感冒豫防

冬期臨時保育

冬休健康心得

結論、以上幼稚園の健康教育に就て述べたが、之を實施する保姆諸姉自身が、健康體でなかつたならば、仲々實行出来るものではない。保姆諸姉の健康問題に就ては、結核豫防の上に築かれた積極的衛生を要約せらるるのではあるまいか。結核の豫防には早期診断が必要である。ツベルクリン反應、X線寫眞、赤血球沈降速度等、結核に必要な診断方法によつて、尠くとも、自身の自體の精密健康調査を行ふべきである。殊に、結核未感染者は時々ツベルクリン反應を行つて、陽性轉化の時期に充分注意する事が望ましい。勿論、是等検査は醫師の力によらねばならぬ。

普通は、身體が健全にして、始めて精神狀態も快活になり得るのである。かくて幼稚園の健康教育により、教育は國民を強化する所の準備を致すべきである。

玩具、繪本の選び方

兒童榮養週間に就て

一月

肺炎に就て

姿勢

凍傷

二月及び三月

保育狀況

發育

春の衛生

非常時局に際し、益々強力なる國民を必要とする。滿洲、北支、南中支に活躍し得る健康なる人材を養成することは、我國の將來に最も重要な事である。其際幼稚園の保育は、勿論、重要視せらるべきである。小學校の健康教育は、漸く、最近津々浦々に叫ばれるに到つた。幼稚園の健康教育も之と相和して、保姆諸姉によつて、實施せられん事を、衷心より祈つて止まない。

終りに臨み、本講演に際し、東京市京橋區鐵砲洲幼稚園保姆主任、穂積篤子女史の御助力を深謝す。

——(本會主催保育講習會講演に著者の加筆増訂を経たり)——